

一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会 中・長期基本計画

1 理念

わが国における視覚障害者のボウリング競技普及と視覚障害者ボウリング関係者の交流、障害者をとりまくスポーツ環境の充実、および多様性を認めるインクルーシブな社会の実現を目指す。

ボウリング競技を通して、視覚障害のある人々を含めた、全ての人に喜びや幸せ、挑戦する機会、成長の可能性と希望を与える。

世界中のボウラーと競い、関係する人々と交流する機会を提供し、生涯に渡り絆を保つための媒体となる。

2 ビジョン

国内外のボウリング関係団体と協力することで、視覚障害者ボウリングの価値を高め、全ての関係者に認められる中央競技団体を目指す。

3 ミッション

視覚障害のあるすべての人々がボウリングを通じて、自己実現を達成するため、環境の整備、人材の育成、機会の提供をおこなう。障害の有無にかかわらず、すべての人々がボウリングを通じて協働できる場を提供する。

4 中・長期指針

1. 法令遵守

活動全般にわたり、法令や関連する諸規程を遵守する。

2. 公正な会計

財務、経理を適正に行い、透明性ある事業運営をおこなう。

3. 倫理指針

社会倫理に即し、事業運営をおこない、私的な利害関係を持ち込まない。差別やハラスメント、暴力などを許さず、全ての関係者が互いに尊重しあえる環境づくりに努める。

4. 事業内容

国内における視覚障害者ボウリングの啓発、普及、発展のための活動として、①大会の開催、②国際大会への選手団派遣、③強化合宿の開催、④講習会の開催、⑤調査・研究、⑥広報をおこなう。

5. 情報管理

個人情報等に十分留意し、厳重に管理し適切に取り扱う。目的外の使用はおこなわない。

6. 不正行為の防止

ドーピング、八百長、賭博等の不正行為の防止に努める。

7. 社会への貢献

ボウリング競技を通じて、インクルーシブな社会の実現を目指すための活動を提案し、実践する。

8. 国際貢献

国際大会への選手団派遣、国際競技団体への人材派遣を通じて、ボウリングおよびパラスポーツ全体の発展に寄与する。

5 事業計画・体制整備

1. 会員数増大事業

(1) 中期計画

登録支部と連携し、各地域での体験会を通じて、レクリエーションから競技レベルまで幅広いレベルの会員増大に取り組む。

(2) 長期計画

現状の会員数 1.5 倍にすることを目標に、広報活動と普及活動を充実させる。

2. 国内大会事業

(1) 公式競技大会: 全日本視覚障害者ボウリング選手権大会

(2) 普及大会: 全日本視覚障害者ボウリング個人選手権大会

視覚障害者ボウリングの普及と競技の更なる発展を見据え、ボウリングの魅力をアピールする大会開催を目指す。

大会の結果等については、SNS を用いて情報発信をし、より多くの人々に興味を持ってもらえるようにする。競技人口を増やすことを念頭に置いて、東京のみならず、各地で大会を開催する。

3. 強化事業

(1) 中期計画

2027 年 IBF パラボウリング選手権大会において、男女、各クラスでのメダル獲得を目指す。年間を通じて、技術面、フィジカル面、メンタル面の強化を目的としたトレーニング合宿を開催する。栄養、アンチ・ドーピング、インテグリティ等の研修に取り組む。

(2) 長期計画

2030 年アジアパラ競技大会において、男女、各クラスでのメダル獲得を目指す。選手層の拡大を目指し、新たな選手の発掘のため、普及活動に力を入れる。選手それぞれの個別目標を設定し、長期的視点を持ち選手を育成していく。

4. 指導者・支援者養成事業

(1) 中期計画

視覚障害者ボウリングの指導者および支援者の数を増やす。

年3回、公益財団法人 Japan Bowling およびその下部組織、パラスポーツ指導者協議会と連携し、指導者・支援者養成プログラムを全国各地で実施する。

(2) 長期計画

指導者・支援者養成プログラムを継続して実施する。

選手の居住地に関わらず、スポーツボウリングを目指す視覚障害者数が増大する環境づくりをおこなう。

各地でボウリングを始めた選手の中から国際大会を目指す選手を発掘し、強化をおこなう。

養成した指導者・支援者の中から国際大会に帯同できる人材の育成をおこなう。

5. 選手強化体制

(1)中期計画

競技力向上部会は、強化合宿や国際大会に帯同可能なコーチを育成する。

スポーツ医学／アンチ・ドーピング部会は、アンチ・ドーピング活動を推進するため JADA の承認エドューケーターの資格取得を目指す。

視覚障害者ボウリングに協力するチームドクター、チームトレーナーの発掘に努める。

(2)長期計画

競技力向上部会は、視覚障害のあるボウラーの特性に配慮した指導方法・体制を模索し、充実させる。

スポーツ医学／アンチ・ドーピング部会は、個々の選手に対応した健康管理・トレーニングプログラムを充実させる。

6. 事務局体制

(1)中期計画

事務局スタッフを倍増し、業務分担を推進する。

(2)長期計画

持続可能な事務局体制を目指す。

7. 広報・マーケティング事業

(1)中期計画

SNS を通じて視覚障害者ボウリングの魅力を発信する。

安定した経済的支援が可能なスポンサーを増やす。

財政基盤を固めるために、視覚障害者ボウリングをツールとした有償での社員研修を実施する。

(2)長期計画

専属の広報・マーケティング担当者を配置し、視覚障害者ボウリングの啓発と助成金や寄付金の獲得に力を入れる。

8. 国際活動事業

(1)中期計画

IBF パラボウリング委員会および Para Bowling Open Tour への協力をおこなう。

IBSA と連携し、必要に応じて大会に参加する。

(2)長期計画

IBF や ABF の中でパラボウリングを中心的に推進していく人材を育成する。

視覚障害以外の障害カテゴリーの選手が国際大会に参加できるよう後方支援をする。

9. 研究・開発事業

(1)中期計画

指導者・支援者がボールの軌道や残ピンを正確に言葉で選手に伝えられるようにするためのトレーニング用

アプリを開発する。

(2)長期計画

全盲選手を含め、視覚障害のある選手が単独で練習可能となる支援システムを開発する。